

「日本語能力試験 合格者と専門家の評価による レベル別 Can-do リスト」の作成について

○大隅敦子*, ○中村健太郎*

* 国際交流基金日本語試験センター

1. 問題と目的

Can-do statements とは外国語の学習者や外国語試験の受験者とその言語を実際に使用する行動場面で、具体的にどんなことができるかを記述した、能力記述文のことである(野口他:2012)。1999 年の TOEIC Can-do guide など、得点に加えてその解釈基準として Can-do statements を開発し、合格、もしくはある得点帯なら何ができるかを受験者、教師をはじめ結果の利用者に提供する外国語試験が増えている。得点解釈基準としての Can-do statements は教室内での、あるいは教室やカリキュラムを横断した大規模試験での能力基準というよりも、合格者や得点取得者が実際に言語で何ができるかを提示することを第一の目的としており、試験結果との関係性を確認しながら多数の受験者による自己評価を分析する手法が採用されている((Educational Testing Service (2007), 日本語教育学会(2018), 日本英語検定協会(年代不明))。

日本語を母語としない学習者を広く対象とする日本語能力試験(5レベル, 以降 JLPT)も 2010 年の改定時に得点解釈基準開発を掲げ「日本語能力試験 Can-do 自己評価リスト」を発表した(国際交流基金・日本国際教育支援協会(2012))。2010 年, 2011 年の JLPT 受験者 64,572 人(表 1)に日本語で何ができると思うか 121 の Can-do statements を提示し, 1. できない, 2. あまりできない, 3. 難しいが何とかできる, 4. できる, の 4 件法の回答をもとに Can-do statements の IRT 尺度化を行った。そして合格者のうち能力の低位 1/3 の層が「できると思う」比率を各レベルで 0~25%, ~50%, ~75%, ~100%で表示して, レベル上昇に伴い「できると思う」比率の動向を追うことを可能にした。2019 年, JLPT では同じ Can-do statements, 同じ回答データのセットを使用して再分析を行った。JLPT もその日本語資格の一である新在留資格創設など外国人受け入れ政策の拡大に伴い, JLPT 各レベル合格者が日本語でできる行動について, 比率の動向を追う重要性もさりながら各レベル・各技能の合格者を表す代表的な Can-do statements についても提示してほしいというニーズに応えたものである。以下、既存の 121 項目から代表的な Can-do statements を抽出した手順を報告する。

表 1 国別・レベル別 調査協力者数 (人)

| | 日本 | 韓国 | 中国 | ベトナム | マレーシア | インド | オーストラリア | アメリカ・カナダ | レベル別計 |
|-----|------|-------|-------|------|-------|------|---------|----------|-------|
| N1 | 1721 | 7595 | 12528 | - | 20 | - | - | - | 21864 |
| N2 | 1830 | 5862 | 9775 | - | 28 | - | - | - | 17495 |
| N3 | 1466 | 3966 | 2201 | 4126 | 303 | 628 | 61 | 135 | 12886 |
| N4 | 825 | 762 | 1653 | 3143 | 64 | 579 | 72 | 131 | 7229 |
| N5 | 358 | 211 | 1638 | 1733 | 244 | 771 | 46 | 97 | 5098 |
| 国別計 | 6200 | 18396 | 27795 | 9002 | 659 | 1978 | 179 | 363 | 64572 |

2. 方法

本研究では、合格者を表す代表的な Can-do statements とは、当該レベルの合格者の相当部分ができると考え、かつ日本語教育専門家の見地からも妥当と考えられるものとした。その抽出のために、1)各レベル合格者の75%以上が3.難しいが何とかできる, 4.できると答えた Can-do statements を当該レベルに割り当てた(複数レベルが該当する場合は最も下位のレベルに割り当てた)。2)豊富な国内外での教授経験, および試験作成経験を有し JLPT 各レベルに詳しい複数の日本語教育専門家が Can-do statements の割当レベルを判定した。その際 N1 合格者でもできない項目を N0 相当とした。3) 1)の合格者データによる割当レベルと2)の専門家の主観による割当レベルとの一致度合を確認し、一定以上の一致を示した項目を抽出した。

3. 結果と考察

1) 121 項目のそれぞれにおいて、各レベルで求めた「できる」への回答比率を昇順に並べた結果と、実際のレベル順(N5~N1)との Spearman の順位相関係数を求めたところ、平均は 0.985 を示した。また IRT 尺度における困難度の順序性とも齟齬がないことを確認した。2) N5 から N0 までを 6 段階の順序の評定とみなした級内相関係数は 0.78 と評定者間で一定の一致が見られ、評定者間信頼性に関して比較的高い値が得られた。3) 最終的に各レベル各技能 1~3 項目合計 47 項目を配置して表 2 のリストを作成した。配置にあたっては、JLPT の能力基準である「認定の目安」(表 2 参照)や試験結果との関係性についても確認した。

本研究は Can-do statements の抽出、割当にあたり教授経験、試験経験ともに豊富な日本語教育専門家の判定を導入したことが特徴である。その効用として 1) Can-do statements にかかわる学習者の自己評定には経験の有無、自信の有無が影響を及ぼすといわれる。専門家による評定と一致したもののみを抽出し割り当てることで、そのような誤差の混入を避け、一方、専門家による判定も合格者による数値的基準と一致しないものは抽出しないことで恣意性を回避した。2) 2010, 2011 年時の回答データについて、2010 年改定の際に導入された新レベル N3 も含め、2019 年時点での確立したレベル感に更新することができた。

参考文献

- 国際交流基金・日本国際教育支援協会 (2012). 日本語能力試験 Can-do 自己評価調査レポート<<最終報告>>. https://www.jlpt.jp/about/pdf/cds_final_report.pdf (2019 年 7 月 18 日).
- 国際ビジネスコミュニケーション協会 (2011). ETS TOEIC|TOEIC L&R スコア別できること一覧. <http://square.toeic.or.jp/reading> (2019 年 7 月 22 日).
- 島田めぐみ・三枝令子・野口裕之 (2006). 日本語 Can-do-statements を利用した言語行動記述の試み—日本語能力試験受験者を対象として—『世界の日本語教育』16.
- 長沼君主・大隅敦子・和田晃子・伊東祐郎・熊谷龍一・野口裕之 (2007). JLPT 日本語能力記述文作成の試み: 日本語能力試験 Can-Do Statements 試行版の分析から 『2007 年度日本語教育学会秋季大会 予稿集』.
- 日本英語検定協会 (年代不明). 英検 Can-do リスト一覧. <http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/cando/list.html> (2019 年 7 月 22 日).
- 日本語教育学会 (2018). BJT ビジネス日本語能力テストに関する Can-do statements 調査研究事業報告書. https://www.kanken.or.jp/bjt/survey_reports/data/survey_reports_2018.pdf (2019 年 7 月 22 日).
- 野口裕之・大隅敦子 (2012). Can-do statements. 『研究社日本語教育事典』. 研究社

日本語能力試験 合格者と専門家の評価による レベル別Can-doリスト

| | (参考)認定の目安 | 聞く |
|----|--|--|
| N1 | <p>幅広い場面で使われる日本語を理解することができる</p> <p>【読む】・幅広い話題について書かれた、新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。</p> <p>・さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。</p> <p>【聞く】・幅広い場面において、自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・あまりなじみのない話題の会話でも話の要点が理解できる。 ・社会問題を扱ったテレビのドキュメンタリー番組を見て、話の要点が理解できる。 |
| N2 | <p>日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語を、ある程度理解することができる</p> <p>【読む】・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。</p> <p>・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。</p> <p>【聞く】・日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校や職場の会議で、話の流れが理解できる。 ・思いがけない出来事（例：事故など）についてのアナウンスを聞いてほしい理解できる。 |
| N3 | <p>日常的な場面で使われる日本語を、ある程度理解することができる</p> <p>【読む】・日常的话题について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。</p> <p>・新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。</p> <p>・日常的な場面で目に触れる範囲の難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。</p> <p>【聞く】・日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を、登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・アニメや若者向け映画のような単純なストーリーのテレビドラマや映画を見て、ほしいの内容が理解できる。 ・会話を聞いて、敬語やくだけた言葉を使っていることが理解できる。 |
| N4 | <p>基本的な日本語を、理解することができる</p> <p>【読む】・基本的な語彙や漢字で書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。</p> <p>【聞く】・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・身近で日常的な話題（例：趣味、食べ物、週末の予定）についての会話がほしい理解できる。 ・簡単な道順や乗り換えについての説明を聞いて、理解できる。 |
| N5 | <p>基本的な日本語を、ある程度理解することができる</p> <p>【読む】・ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。</p> <p>【聞く】・教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な指示を聞いて、何をすべきか理解できる。 ・先生からのお知らせを聞いて、集合時間、場所などがわかる。 ・店、郵便局、駅などで、よく使う言葉（例：「いらっしゃいませ」「〇〇円です」「こちらどうぞ」）を聞いて、理解できる。 |

本表はレベル別・技能別Can-do statementsを得ることを目指して、「日本語能力試験Can-do 自己評価調査レポート《最終報告》」（2012）と 同じCan-do statements、同じ調査協力者（64,842人）データを対象に、合格者と専門家の評価により再分析を行い、主に以下の①②③によりCan-do statementsの採択および割り当てを行いました。

※各Can-do statementsは下記手順で割り当てられたものであり、学習到達目標や試験内容を表すものではなく、また各レベル合格者が日本語でできることを保証するものではありません。

| 読む | 話す | 書く |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・論説記事（例：新聞の社説など）を読んで、主張・意見や論理展開が理解できる。 ・政治、経済などについての新聞や雑誌の記事を読んで、要点が理解できる。 ・人物の心理や話の展開を理解しながら、小説を読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関心ある話題の議論や討論に参加して、意見を論理的に述べるができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心のある分野のレポートを書くことができる。 ・複数の情報や意見を自分のことばでまとめて、文章を書くことができる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事や関心のある分野の報告書・レポートを読んで、だいたいの内容が理解できる。 ・身近で日常的话题についての新聞や雑誌の記事を読んで、内容が理解できる。 ・敬語が使われている正式な手紙やメールの内容が理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・最近見た映画や読んだ本のだいたいのストーリーを紹介することができる。 ・クラスのディスカッションで、相手の意見に賛成か反対かを理由とともに述べるすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理由を述べながら、自分の意見を書くことができる。 ・最近読んだ本や見た映画のだいたいのストーリーを書くことができる。 ・学校、ホテル、店などに問い合わせの手紙やメールを書くことができる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・短い物語を読んで、だいたいのストーリーが理解できる ・図鑑などの絵や写真のついた短い説明を読んで、必要な情報がとれる。 ・商品のパンフレットを見て、知りたいことがわかる。（例：商品の特徴など） | <ul style="list-style-type: none"> ・準備をしていれば、自分の送別会などフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。 ・店で買いたいものについて質問したり、希望や条件を説明したりすることができる | <ul style="list-style-type: none"> ・知人に、感謝や謝罪を伝えるメールや手紙を書くことができる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・知人や友人から来た短いはがきやメールを読んで、理解できる。 ・学校、職場などの掲示板を見て、必要な情報（例：講義や会議のスケジュールなど）がとれる。 ・新聞の広告やチラシを見て、安売り期間や値段などがわかる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・驚き、嬉しさなどの自分の気持ちと、その理由を簡単なことばで説明することができる。 ・身近で日常的话题（例：趣味、週末の予定）について会話ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友人や同僚に日常の用件を伝える簡単なメモを書くことができる。 ・友人に、依頼や誘いの簡単な手紙やメールを書くことができる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・年賀状や誕生日のカードを読んで、理解できる。 ・学校などで面談の予定表を見て、自分の面談の曜日と時間がわかる。 ・駅の時刻表や案内板を見て、自分が乗る電車の時間がわかる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的なあいさつと、その後の短いやりとりができる（例：「いい天気ですね」など） ・店、郵便局、駅などで、よく使われることば（例：「いくらですか」「〇〇をください」）を使って、簡単なやりとりができる。 ・自己紹介をしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己紹介の文を書くことができる。 ・書類に、名前や国名などを書くことができる。 ・誕生日のカードや短いお礼のカードを書くことができる。 |

① レベルごとに 合格者の75% 以上が3.何とかできる、4.できると自己評価したCan-do statementsを割り当てた。複数レベルが該当する場合は最も下のレベルに割り当てた。②複数の日本語教育専門家による判定を行った。③ ①の合格者データによる割当レベルと②の専門家の判定による割当レベルが一定程度一致した場合に、当該レベルのCan-do statementsとして採用した。